



2年必修「体育」の授業

- 1 科目名 体育（2年必修・3単位）
- 2 担当者 坂本将哉（教諭、生徒指導部、バスケットボール部顧問、本校1年目）
- 3 本授業 「インディアカ」の試合を通して、その競技(スポーツ)の特性やルールを理解する。また、試合で勝つための役割(ポジション等)や戦略をチームで練り、実践する。



インディアカ（ドイツ語：Indiaca）はドイツで考案されたニュースポーツです。インディアカと呼ばれる羽根のついたシャトルコック状のボールを、ネットをはさんで相対した2チームが互いに手で打ち合う団体競技。

4対4または5対5で打ち合う。コートはバドミントンのダブルスと同じ。ルールはバレーボールとほぼ同じ。

体育

学年・形態	2学年・必修	教科書	なし
単位数	3単位	副教材	なし
科目の目標	1、運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになる。 2、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高められるようになる。 3、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につける。		

学習内容	体づくり運動、球技、陸上競技、ダンス、体育理論を行う。
評価の方法	次の項目を総合的に判断しておこなう。 ①授業態度 ②提出物 ③スキルテスト ④学習状況の観察

評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	対象	・授業態度 ・提出物	・グループ活動 ・提出物	・スキルテスト	・グループ活動 ・提出物
	S	・周囲と協力し、目標達成に向けて積極的に取り組もうとする。 ・常に健康・安全に留意しながら取り組もうとする。	・周りの状況を判断し、自らの役割をいくつか見つけ出し、行動している。 ・積極的に課題を見つけ、工夫して練習に取り組んでいる。	・各種目の技能レベルを大幅に達成している。 ・スキルの程度に対して積極的に行動し、努力して上達もしている。	・各種目の運動の特性や魅力について大幅に理解して運動を行っている。 ・技の名前や運動のルールを理解し、自信を持って審判を務めている。
	A	・周囲と協力し、目標達成に向けて取り組もうとする。 ・健康・安全に留意しながら取り組もうとする。	・周りの状況を判断し、自らの役割を見つけ出し、行動している。 ・課題を見つけ、工夫して練習に取り組んでいる。	・各種目の技能レベルを達成している。 ・スキルの程度に対して努力して行動し、上達している。	・各種目の運動の特性や魅力について理解して運動を行っている。 ・技の名前や運動のルールをやや優れて理解し、審判を務めている。
	B	・周囲との協力が不十分で、練習などに取り組もうとしない時がある。 ・健康・安全への留意が欠ける時がある。	・自らの役割を見つけてはいるが、行動できていない。 ・課題を見つけていない、課題設定ができず、適切ではない行動をしている。	・各種目の技能レベルを概ね達成できている。 ・スキルの程度に対しての努力が適切ではなく行動している。	・各種目の運動の特性や魅力について概ね理解して運動を行っている。 ・技の名前や運動のルールを概ね理解しているが、審判を務めていない。
	C	・周囲と協力せず、練習に取り組もうとしない。 ・健康・安全への留意ができない。	・自らの役割を見つけれず、行動できていない。 ・課題を見つけることができず、行動もできていない。	・各種目の技能レベルが達成できていない。 ・スキルの程度に対しての努力が適切ではない。	・各種目の運動の特性や魅力について理解できていない。 ・技の名前や運動のルールを理解できていない。

成績不振要注意者の基準 評価観点のうち、「C」を2つ以上取った者

	単元名	主な学習内容
前期	体づくり運動 バレーボール ダンス 陸上競技 ベースボール型 テニス	体ほぐしの運動、体力を高める運動、集団行動、新体力テスト パスとレシーブ、トス、スパイクなど基礎技術、三段攻撃、現代的なリズムのダンスとステップ 競走、跳躍、投てき キックベース、チーム連携とルール理解 フォアハンド、バックハンド、ロブ、ラリーなどの基礎技術
後期	体づくり運動 器械体操 ハンドボール 一選択制一 バドミントン 卓球 ミニバレー 体育理論	新体力テスト マット運動、跳び箱運動の基礎、作品発表、作品鑑賞 キャッチボール、パス、シュートなどの基礎技術 クリアー、ドロップ、スマッシュなどの基礎技術 フォア、バック、ツッツキ、スマッシュなどの基礎技術 パスとレシーブ、トス、スパイクなどの基礎技術、三段攻撃 スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴